

- **みんなのエコの芽、育てよう。「超 ECO 祭 2023」開催**

[同志社大学商学部 瓜生原葉子研究室](#)の学生がソーシャルマーケティング*を活用し、「医療のエコ活動」を入り口としたイベントを企画・開催しました。

学生が主体となり、市民に向けた情報発信をしています。

2023 年は“健康・医療”と“環境”のエコ活動という一つの領域を超えた市民向けイベントを 9 月、11 月、12 月と 3 回にわたり、商業施設で開催しました。同志社大学だけではなく、名古屋(開催地)にある名古屋外国語大学、名城大学の学生のほか、市民団体、スポーツジムの方など幅広いステークホルダーと一緒に、“健康・医療”と“環境”の大切さに気づく機会を提供し、楽しみながら、未来を守るためにできることを考えるイベントにしました。

*マーケティングの概念と様々な手法を結びつけることにより、「ソーシャルグッド」の実現に向け、個人やコミュニティ全体の行動変容を促すための手法



- **母校の高校で授業を開催**

[専修大学](#)キャリアデザインセンター主催の就業体験プログラム「問題解決型チャレンジプログラム」に参加の学生 8 名が「医療のエコ活動」の普及に取り組みました。

学生がドラッグ・ラグ、ドラッグ・ロスという課題に対し、新しい薬が日本で生み出されやすい環境をつくるためには「若者の声が必要だ！」と考え、学生達の母校である3つの高校で「医療のエコ活動」をテーマとした授業を行いました。

企画書を自ら作成し、高校と授業枠の確保を交渉したほか、授業構成とスライド作りなどにもチャレンジした結果、総勢 600 名ほどの母校の後輩(高校生)と先生に「医療のエコ活動」を学んでいただき、若者からの意見を集めました。

